

諸家系譜

位
乙
富
永

| | | | |
|-------|-----|----|-----|
| 太政官文庫 | | | |
| 三三五 | 三二六 | 四九 | 和書門 |
| 冊架 | 函 | 號 | 類 |

| | | | |
|------|-----|-----|----|
| 內閣文庫 | | | |
| 五二五 | 二二五 | 三二六 | 和書 |
| 函架 | 冊 | 號 | 類 |

| | | |
|------|------------|-------|
| 內閣文庫 | | |
| 番號 | 和 | 32649 |
| 冊數 | 225 (68) | |
| 函號 | 156 | 23 |

共二百廿五

共八十五



乙
諸君
諸君
諸君
諸君

系譜

未
白
白
白

法
三
白
白
白
白

中
書
書
書
書

宇多源氏

富永

新實親王七代孫依木源三多義
十代孫依木源三多義
依木源三多義村住氏富永

旗紋

街道四目結

幕紋

角四目結
十六葉表裏

家紋

街道四目結

砂紋

九葉表裏
右文字源三多義

砂紋九葉表裏
右文字源三多義
右文字源三多義
右文字源三多義
右文字源三多義
右文字源三多義
右文字源三多義
右文字源三多義
右文字源三多義
右文字源三多義

政経其功己其勢故仕存其政俾存其

善一故十三系 表系之勝正冬首 四書法其
市師之新 東嶽山同友 日念之
作其以御 東嶽山天 海修印 獨一之
自服正也多 行表系 仕善一 故其官

泰の代

海力人

泰久

以善人

少紀文表の属小條 早重の事代
少系の仕進 心致功或別少机 故其
五千之勢也

天正中 八月 亥の年 七月 卯 小條 故少向系
傳道之仕 醫田村 安栖家 移之 故其
清和少 同 中 下 下 行 傳 交 中 村 少 補
前田 獲 物 依 法 法 了 安 栖 宅 年 中 隆
石 系 故 表 系 進 之 自 以 以 中 輝 自 製 之 知
泰久 於 日 不 頑 也 仕

冬之在

以善人

孫之帝

孫之文

王服

信之信之

母 少系 故 表 系 進 之 自 以 以 中 輝 自 製 之 知
妻 少系 故 表 系 進 之 自 以 以 中 輝 自 製 之 知

武万平奔奔川道色仕一卜先り
神功殊々成事 仰出心及々知く云法士に
仰出心及々知く云法士に
云云仕道通て云法士に 仰出心及々知く云法士に
下云云法士に 仰出心及々知く云法士に
我國一軍名宗平氏云云云云云云
宗平氏一軍名宗平氏云云云云云云
中云云云云云云云云云云云云
我万平奔奔川道色仕一卜先り
云云云云云云云云云云云云

御書後款台選軍件
同日而事八月日始館林一城之長尾豊
十路治死地云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云

史記卷一百一十五 留侯世家
十一年 一書 留侯世家

曰十三 四年 八月 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家

曰十六 四年 八月 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家

留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家
留侯世家 留侯世家 留侯世家

近之仕名海澄中一信才一用仕歌教
 取多仕於無之種山々也仕意教
 為本之仕長之少心之年新長
 内見有仕信之少 出仕少之少
 又編之仕年三月之少
 仕於休見 所接敏
 於江輝 内見之少 仕少之少
 四年豐作長者 功解仕少之少
 三月之少
 於現標河流之 仕少之少 仕少之少

河津場之信長之少
 同三年三月之少 能或好之少
 取中於村之少 或今之少
 亦少之少 亦少之少
 河出之少之少 仕少之少
 河出之少之少 仕少之少
 仕少之少之少 仕少之少
 四年七月之少 仕少之少
 河出之少之少 仕少之少
 四年九月之少 仕少之少

系 上意に準りて、所屬の事務は、
従書に— 乳牛を養育し、
碩波の定置所を任す也。
上意に— 以上服二番は、
實に永くは、甲午年三月

多住 後撮方 山道 池田 田舎 有公 任
大藏院 孫所代

同 年 六月 廿 日 所 屬 手 引 山 道 池 田
中 野 山 山 梨 田 中 祐 永 村 之 手 引 村
山 道 之 山 道 池 田 任 事 任 事 任

お願、其の上、将方之人、
可出方、其の所、
多住、後撮方、
誠、任、事、学、
正、保、之、
氏、在、之、
上、使、初、年、
御、守、之、方、
三、之、由、
十二、月、十三、日、

武列於心... 戒之... 蔡...

正名... 林院... 宗觀

負名... 依之... 家傳... 大武...

武... 中書... 之... 從... 年... 五...

內... 修... 之... 多... 法... 軍... 備...

亦... 受... 用... 一... 乃... 今... 仕... 外... 年... 書...

若... 于... 卷... 著... 述... 法... 重... 公... 法... 陰...

五... 和... 帝... 滿... 日... 矣... 上... 名... 右...

大... 融... 院... 錄... 人... 名... 書... 籍... 內... 天... 二... 尊... 傳...

之... 覺... 以... 京... 方... 一... 乃... 傳... 天... 書... 名... 未... 年...

久... 友... 俊... 政... 文... 名... 右... 書... 籍... 內... 天... 尊... 傳...

明... 曆... 三... 十... 年... 己... 丑... 日... 獲... 矣... 何... 事... 後... 以... 今...

之... 心... 亦... 好... 作... 在... 法... 官... 之... 名... 西... 方... 之... 勝... 矣... 文...

... 者... 考... 俊... 天... 正... 己... 酉... 年... 所... 傳... 神... 道... 流... 河... 例...

所... 在... 山... 州... 例...

江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...
江戸市部... 江戸... 江戸...

恭子

旧姓山

恭定

江戸

元禄

年号

母

山部氏... 山部氏...

大和... 大和...

天守八... 宣年七月於... 尚京

... 氏政氏輝自叙

此母父孝久... 殉死

女子

山部氏...

... 氏...

母

冬衛... 氏...

母家女

文禄二年二月の八日

赤松義通の御書

其の宗 古傳致

武列徳光臣村の勝とて伝次

母宗女

冬之 古傳

母田中御中と奉り女

女

母宗女

冬之

忠孝の 御書

母 宗女 御書

妻 内蔵と奉り女 御書

冬之 年中 御書

冬之 年中 御書

冬之

台徳院様へ

御書

冬之 年中 御書

冬之 年中 御書

御書

官人亦乞 甲子年 少定 相由 也

作有

同之 爲 定 年 少 爲 可 年 在 少 年 政 爲 也

作有

同 八 年 未 年 三 海 信 正 同 於 也

故 仕 能

神 亦 少 教 免 也

作有

切 亦 由 乞 少 年 也 也 大 常 由 推 和 言 力 能

少 爲 又 也

作有

正 保 三 年 四 年 十 年 以 後 亦 也 下 年 也

其 少 由 乞 年 也 年 也 也 大 也 爲 也 也

中 途 也 也 也

作有

實 文 二 三 年 年 十 年 十 年 也 也 也

都 亦 乞 乞 也 也 也 也 也 也 也 也 也

其 亦 乞 乞 也 也 也 也 也 也 也 也

右 是 年 甲 子 也 也 也 也

實 亦 乞 乞 也 也 也 也 也 也 也 也

甲 子 年 乞 乞 也 也 也 也 也 也 也 也

觀 亦 乞 乞 也 也 也 也 也 也 也 也

也 亦 乞 乞 也 也 也 也 也 也 也 也

作 亦 乞 乞 也 也 也 也 也 也 也 也

大融院様御代

寛政元年五月廿七日御通

内事下 〇〇〇〇〇〇

欠上利

以持取 〇〇〇〇

母 〇〇〇〇〇〇

寛政元年 〇〇〇〇〇〇

台使様様 〇〇〇〇

〇二〇〇年 〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇

欠上元 〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

台使様様 〇〇〇〇

〇二〇〇年 〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

實父永八壽末年日 百五十九歳
實父之生 享年三十一 之 諸君 幸甚

其の 孫 實父

母 實父

實父永八 享年三十一 之 諸君 幸甚
其の 孫 實父
其の 母 實父
其の 父 實父

其の 孫 實父

母 實父

實父永八 享年三十一 之 諸君 幸甚
其の 孫 實父
其の 母 實父
其の 父 實父
其の 弟 實父
其の 兄 實父
其の 妹 實父
其の 弟 實父
其の 兄 實父
其の 妹 實父

其の 孫 實父

其の 母 實父

實父 永八 享年三十一 之 諸君 幸甚
其の 孫 實父
其の 母 實父
其の 父 實父
其の 弟 實父
其の 兄 實父
其の 妹 實父
其の 弟 實父
其の 兄 實父
其の 妹 實父

實母 實母原家年 子格和承多子治女

妻 子治 杉年若三子河津女

久和子 己年十一月廿五日 於河津生

實承八子若年 初親 己年

實承九子若年 中親 己年 是後子也

實承十子若年 中親 己年 是後子也

實承十一子若年 中親 己年 是後子也

實承十二子若年 中親 己年 是後子也

實承十三子若年 中親 己年 是後子也

實承十四子若年 中親 己年 是後子也

實承十五子若年 中親 己年 是後子也

實承十六子若年 中親 己年 是後子也

實承十七子若年 中親 己年 是後子也

實承十八子若年 中親 己年 是後子也

實承十九子若年 中親 己年 是後子也

實承二十子若年 中親 己年 是後子也

實承二十一子若年 中親 己年 是後子也

實承二十二子若年 中親 己年 是後子也

實承二十三子若年 中親 己年 是後子也

實承二十四子若年 中親 己年 是後子也

廟中云我別家流即甲村初高...

母 孝行 孝行 孝行 孝行

母 孝行 孝行

母 孝行 孝行 孝行

母 孝行 孝行

母 孝行 孝行

母 孝行 孝行

母 孝行 孝行

孝行

母 孝行 孝行

實父文元壽己年三月十日... 孝行 孝行 孝行 孝行 孝行 孝行 孝行 孝行 孝行 孝行

年月日

其利之者... 大久保... 秋之... 作... 中... 宝... 甲... 日...

其利之者... 大久保... 秋之... 作... 中... 宝... 甲... 日... 其利之者... 大久保... 秋之... 作... 中... 宝... 甲... 日...

果通

廿... 松...

寛文十二年壬子年十一月廿九日
高河内西丸山書院高河内
津久野家より書す

隆任

母高河内

天和二年四月廿九日
高河内西丸山書院高河内
津久野家より書す

女子 隆任
母高河内

恭庸

多山行 三信

妻高河内

實父 隆任

官母 隆任

妻高河内

元禄三年

宣永

作

正徳元年
小室

同身中より出た山形同好経流子と云ふ
 徳川同好と云ふ
 寛文三年三月廿四日 杉木園梅子
 子死す節 山形流高志門下梅子 徳川同好
 と云ふ
 同六年五月廿七日 杉木園梅子
 流子流高志門下梅子 徳川同好
 流子流高志門下梅子 徳川同好
 流子流高志門下梅子 徳川同好

養代

之流 勤更

母 富夫 徳川同好 養父 妻の女
 一色 三三 山形流高志門下梅子
 同六年五月廿七日 杉木園梅子
 流子流高志門下梅子 徳川同好
 同七年三月廿四日 杉木園梅子
 流子流高志門下梅子 徳川同好
 同七年三月廿四日 杉木園梅子
 流子流高志門下梅子 徳川同好

有法論... 皇曆三年... 作... 日十三... 竹... 法...

幕府

如... 一色...

世... 一色...

貴... 桂... 是... 女... 明...

言... 係... 皇... 曆... 十... 三...

中... 皇... 曆... 十... 三... 年... 有... 日...

同... 身... 十... 有... 日... 皇... 曆... 十... 三... 年...

明... 和... 三... 年... 皇... 曆... 十... 三... 年... 有... 日...

竹... 在... 殿... 止... 備... 不... 後... 皇... 曆... 十... 三... 年...

此五地寺後山山

其
子也

母 弟也

其

明

母 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

其 弟也

同治二年七月... 承... 敬... 謹... 啟...

同治二年九月... 承... 敬... 謹... 啟... 承... 敬... 謹... 啟...

通

敬 啟者 承... 謹... 啟...

母 啟

同治二年... 承... 敬... 謹... 啟...

某 江戸
母 早世

吾身 江戸

母 江戸

吾身 江戸

江戸

某 江戸

母 江戸

母

母 江戸

吾身 江戸

吾身 江戸

寛政十三年

富永 勘次郎

| | |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------|
| <p>未十有九 永井右衛門左衛門</p> | <p>信年 三橋右衛門 堀内長右衛門</p> |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------|

系傳

七 今多

平井
 永井右衛門
 堀内長右衛門

丁亥年

寫水

丁亥年三月廿一日
後胤依未巳年三月
未孫以壬午寫水之
為宗名中於三月

幕之紋 三三三

家之紋 三三三

部之紋 四四四

守室

三月廿一日

形舟

後胤孫下 所自之仕所當之
後少宗氏原

慶長二年大里阿多伯中々也
天利元年有也

台位院孫大政君少孫之孫阿多伯中々也
元政院之孫其孫所多夫之由十信博一強
可也

同正己身有也方 而元新會政藤所之由阿多
信清南村也之孫也阿多伯中々也
阿多伯中々也

阿多伯中々也

阿多伯中々也

阿多伯中々也
阿多伯中々也
阿多伯中々也
阿多伯中々也

阿多伯中々也
阿多伯中々也
阿多伯中々也
阿多伯中々也
阿多伯中々也

号峰永院晴嶽通

守名

守名

母名正 守名正 守名正

右守名正 守名正 守名正

守名正 守名正 守名正

年月日 守名正 守名正

守名正 守名正

守名

守名

守名

右守名正 守名正 守名正
守名正 守名正 守名正

守名

守名

守名

守名正 守名正 守名正

守名正 守名正 守名正

守名正 守名正 守名正

守名正 守名正 守名正

守名正 守名正 守名正

守名正 守名正 守名正

慶安二年二月十日... 正寛...
三月廿七日... 相方...
己卯年十一月十日...
自是年... 年二月十日...
仍... 如... 依...
又... 人... 年... 二月十日...
山... 年... 二月十日...
仍... 年... 二月十日...
也... 年... 二月十日...
也... 年... 二月十日...

同... 年... 二月十日...
作... 年... 二月十日...
也... 年... 二月十日...

同... 年... 二月十日...
作... 年... 二月十日...
也... 年... 二月十日...

正寛
正寛

也
也

不... 正寛... 正寛...
實... 文... 也... 年... 二月十日...

能為永世所存正英家也

正勝

陸奥守 如左

母 曾孫子 如左

其 母 曾孫子 如左

下 曾孫子 如左

宣 文 七 曾孫子 如左

若 名 院 様 山 内 氏

天和三年四月廿七日
三月後下 山内氏 曾孫子 如左

元禄元年四月廿七日

修 山 内 氏 料 二 曾孫子 如左

旧 山 内 氏 料 二 曾孫子 如左

旧 山 内 氏 料 二 曾孫子 如左

山 内 氏 料 二 曾孫子 如左

山 内 氏 料 二 曾孫子 如左

山 内 氏 料 二 曾孫子 如左

字 次 大 守 氏

母 切 山 内 氏 料 二 曾孫子 如左

山 内 氏 料 二 曾孫子 如左

守名子... 守名子... 守名子...

紀是 以年... 紀是

廿... 紀是

廿... 紀是

廿... 紀是

廿... 紀是

廿... 紀是

廿... 紀是

女子 早七

女子

紀是 以年... 紀是

廿... 紀是

廿... 紀是

廿... 紀是

廿... 紀是

紀是 以年... 紀是

紀是 以年... 紀是

紀是 以年... 紀是

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

同治五年正月五日 朔 乙未 卯 卯

見 康平十年十月五日 康平十年十月五日

日 十二年十月十九日 康平十年十月十九日

延喜二年九月九日 康平十年九月九日

大納言藤原朝臣 康平十年十月五日

康平十年十月五日 康平十年十月五日

出 康平十年十月五日 康平十年十月五日

右記見書

康平十年十月五日

家子代様所守 康平十年十月五日

記簿

年一知

廿日 康平十年十月五日

康平十年十月五日 康平十年十月五日

康平十年十月五日 康平十年十月五日

康平十年十月五日 康平十年十月五日

康平十年十月五日 康平十年十月五日

右記見書

康平十年十月五日 康平十年十月五日

康平十年十月五日 康平十年十月五日

康平十年十月五日 康平十年十月五日

寛政二年四月廿七日 右之村
十一日 山崎二

同日 右之村 山崎 右之村 山崎
同日 右之村 山崎 右之村 山崎
同日 右之村 山崎 右之村 山崎
同日 右之村 山崎 右之村 山崎
同日 右之村 山崎 右之村 山崎
同日 右之村 山崎 右之村 山崎

同日 右之村 山崎 右之村 山崎
同日 右之村 山崎 右之村 山崎

同日 右之村 山崎 右之村 山崎

同日 右之村 山崎 右之村 山崎

右之村 山崎 右之村 山崎 右之村 山崎

寛政四年三月廿七日 山崎 右之村

同日 右之村 山崎 右之村 山崎

右之村 山崎 右之村 山崎 右之村 山崎

寛政四年三月廿七日 山崎 右之村

同日 右之村 山崎 右之村 山崎

同日 右之村 山崎 右之村 山崎

同日 右之村 山崎 右之村 山崎

同日 右之村 山崎 右之村 山崎

正房

海老原

世の上の修白屋の長女

右正房の嫡子

明和六年六月十八日歿

貞則

母

右貞則金永七年百三歳歿

和氏

母

右和氏寛政二年百六歳歿

守恒

母

母

記

長年

母

寛政元年 中陽武正室女

延享三年 百六歳歿

寛政十二年 百六歳歿

海老原 貞則

昭和二年八月廿九日父病死

四年十月廿九日母病死
昭和二年八月廿九日父病死
昭和四年十月廿九日母病死

昭和五年十月廿九日父病死

昭和六年十月廿九日母病死
昭和五年十月廿九日父病死
昭和六年十月廿九日母病死

昭和七年十月廿九日父病死
昭和七年十月廿九日母病死
昭和八年十月廿九日父病死

昭和九年十月廿九日母病死
昭和九年十月廿九日父病死
昭和十年十月廿九日母病死

昭和十一年十月廿九日父病死

昭和十二年十月廿九日母病死
昭和十二年十月廿九日父病死
昭和十三年十月廿九日母病死

也

母

昭和十四年十月廿九日父病死
昭和十四年十月廿九日母病死
昭和十五年十月廿九日父病死

也

昭和十六年十月廿九日母病死
昭和十六年十月廿九日父病死
昭和十七年十月廿九日母病死

母 ㇀
 母 ㇁
 母 ㇂
 母 ㇃
 母 ㇄
 母 ㇅
 母 ㇆

新成

八世

正統

母 ㇇

實父 逸見八世の實母
 實母 實父の母 又 實母の母
 實母 實父の母 又 實母の母
 實母 實父の母 又 實母の母
 實母 實父の母 又 實母の母
 實母 實父の母 又 實母の母
 實母 實父の母 又 實母の母
 實母 實父の母 又 實母の母
 實母 實父の母 又 實母の母
 實母 實父の母 又 實母の母

母の事付し、湯の里橋を以て
 曰く、年ありて、少くも父は、能く、諸君、病に
 曰く、年ありて、少くも父は、能く、諸君、病に
 曰く、年ありて、少くも父は、能く、諸君、病に
 曰く、年ありて、少くも父は、能く、諸君、病に
 曰く、年ありて、少くも父は、能く、諸君、病に
 曰く、年ありて、少くも父は、能く、諸君、病に
 曰く、年ありて、少くも父は、能く、諸君、病に
 曰く、年ありて、少くも父は、能く、諸君、病に

上覧に、作の如く、何れも、外、此、四、層、の
 上、覧、に、作、の、如、く、何、れ、も、外、此、四、層、の

- 也 留水云云
- 也 早也
- 也 早也
- 也 早也
- 也 早也
- 也 早也

元雅 一

母 尚幼在堂年廿

某 妾命

母

某 年三十一 早世

母

某 幼行

母

幼行

左 通 幼行 幼行

左 幼行 幼行

幼行 幼行 幼行 幼行

幼行 幼行 幼行 幼行

宣 政 十 年

尚 幼 在 堂 年 廿

和

七
中
多

系
譜

東
三
月
六
日
南
於
肥
後
守
少
公

治
氏
百
三
三
年
地
田
長
為
了

中
多
加
印
北
名
守
少
公
富
永
四
守
少
公

十五其全十有進一之也

之原三年有十月 之個三刻

休之本 亦即行及

右德治之能方之正待作也

高丈 刑部行 高政 漢行

實者 高房 亦即行 後神四年

母高永 氏女 高政妻 氏女

生三河小高河内氏

高永年己年 高列 高政樂妻 高永年 高永年 己未年

高永年院中 洞院 高列 高政 高永年 高永年 高永年

高永年 高永年 高永年 高永年 高永年 高永年

高永年 高永年 高永年 高永年 高永年 高永年

高永年 高永年 高永年 高永年 高永年 高永年

高永年 高永年 高永年 高永年 高永年 高永年

高永年 高永年 高永年 高永年 高永年 高永年

高永年 高永年 高永年 高永年 高永年 高永年

天明七年三月廿九日死
葬于... 山... 照

政通

以... 宣... 社... 山...

延享... 山...

母... 山...

高... 山...

生... 山...

文... 山... 山...

山... 山... 山...

山... 山... 山...

山... 山... 山...

山城

山... 山... 山...

山... 山... 山...

山... 山... 山...

山...

山... 山...

山...

山... 山... 山...

山...

山... 山... 山...

山... 山...

山... 山...

少宗氏改姓一字自改字乃通一字

仍或城城首而一亦公之富水危之的宜忠

菅沼治平治者利乃知之人相之乃至

永保七年甲申年之海不國府君名右

哉以死一門之內富水危之的宜忠公治

是乃行忠重付死體代一乃乃甲申

之秋令門年乃乃山田屋乃乃稻葉内乃乃

勝名生乃乃富乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

少乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

勝乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

十勝二乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

危乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

初、自公九、外、刻、市川、御、と、押、渡、り
 敵、城、ヲ、攻、破、シ、賜、利、勇、勲、七、千、石、計、去、ラ
 申、上、御、以、爲、之、成、ハ、以、去、若、御、所、在、者
 普、利、兵、卒、御、所、在、御、田、ヨ、リ、申、上、之、事、以、爲、
 御、子、之、御、利、ハ、御、死、ニ、爲、利、勇、勲、七、千、石、計、
 爲、御、所、在、者

政、辰、
 母、上、之、御
 女、
 母、上、之、御

政、辰、
 寛、永、十、代、
 母、上、之、御

寛、永、十、代、
 母、上、之、御
 寛、永、十、代、
 母、上、之、御
 寛、永、十、代、
 母、上、之、御
 寛、永、十、代、
 母、上、之、御

可於出誠傳代... 長治元年... 十月... 十一人... 久... 天正九年

權... 此... 再... 上...

情... 上... 神... 勝... 九... 慶... 百... 上... 慶... 其...

正則

龜丸社令行

長年

母之修中女

高女修中女

天正十八年三月廿日 長年 長年 長年

天正十八年

権政様下 長年 長年 長年 長年 長年

廣長二年九月廿日 長年 長年 長年 長年 長年

加百八凡三百名 長年 長年 長年 長年 長年

長年 長年 長年

長年 長年 長年 長年 長年

田之月 長年 長年 長年 長年 長年

右不家 長年 長年 長年 長年 長年

長年 長年 長年 長年 長年

廣長二年十月廿日

長年 長年 長年

長年 長年 長年

長年 長年 長年

長年 長年 長年 長年 長年

長年 長年 長年

年月名を以て... 年日名を以て... 年日名を以て... 年日名を以て...

曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日...

母上月... 母上月... 母上月... 母上月...

胎由

母上月... 胎由... 胎由...

曆長十八年三月廿五日

曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日...

曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日...

曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日...

曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日... 曆長十八年三月廿五日...

池上ノ各坊ノ之新ノ不ノ知ノ一内ノ引
書ノ有可任ノ名ノ在十ノ六也也所軍設法以有
四ノ先ノ一也所也母并傳存ノ上ノ所行
作ノ一也其ノ名ノ之也其ノ在十ノ六也也
實永元元年十月廿九日

台位後様上ノ口 右ノ出ノ山中ノ地也
實永二百年九月廿九日所出ノ名ノ一也
一上ノ一也三ノ百ノ三ノ也其ノ成ノ以ノ地ノ在十ノ六也也
實永元元年十月廿九日
實永元元年十月廿九日

上ノ位ノ台位也池ノ新ノ地也村ノ三ノ也
廿九年四月廿九日
不ノ一也令ノ也助ノ一也令ノ也其ノ也
實永元元年十月廿九日
實永元元年十月廿九日

實永元元年十月廿九日
實永元四年四月廿九日
實永元六年三月廿九日
實永元八年二月廿九日

女死
廿二日

政房

以清考 二九 甚守 尚休

喜色 小面出女

寅父 留家 勿入 勿長

寅母 勿入 勿入 勿入

喜 甲子 陸高 中山 房 唐 忠 秘 女

生 欲 系 福 井

實 文 九 百 年 回 姓 養 子

元和二年十月十日 入 養 父 養 父 他

元和三年正月十日 入 養 父 養 父 他

元和七年 在 高 久 領 以 清 後 見 之

元和十年 正月十九日 柳 高 由 中 由

元和十二年 緋 大 孫 養 父 以 他

元和十三年 正月十日 養 父 他

元和十四年 正月十日 入 養 父 養 父 他

尚 休 他

元和十五年 正月十日 入 養 父 養 父 他

尚 休 他

室永天子年四月十日遷葬
四年十二月書於牙里向東前与室永天子
下被葬於神戶又合葬於志利野及改葬休
享保永一辰年二月九日死七十九
葬同寺号貞松院信友觀珠

勝清

勝友 命物 野力等

母中山氏女

妻の者室永の女 室永の清友の女

室永天子年四月十日遷葬入貞松院信友
享保七三年三月十八日葬於同寺又死

入書院為伊波攝子也

延享子元年十二月十日葬入貞松院信友

延享二年十月十日死守向

葬同寺号岩田若院信友

某年死

母上白

某年死

母上白

女室永後高杉等
母室永女

女死

母亡

女山崎死九月相家

母亡

高別

服行正甚行遊

母亡

真山崎國田家傳女

延享二年十一月廿三日入山崎傳物死

延享三年六月廿七日山崎傳物死

同月十日山崎傳物死

宝曆九年十一月廿七日山崎傳物死

安永四年三月廿八日山崎傳物死

安永六年四月十日山崎傳物死

天明四年四月廿七日山崎傳物死

葬山崎傳物死

女死

母亡

女山崎傳物死

母亡

葬山崎傳物死

母亡

延享三年六月廿七日山崎傳物死

女死

母身白氏女

高志

龜の 口角あり

母身白

高志 兩國の 輝斐十重の娘女

後妻 子記 住屋 在り 生居女

安永六年八月廿六日 家督 入道 於 延和 死
十一日 葬 山 北

天明七年八月廿六日 家督 入道 於 延和 死
寛政三年八月廿六日 家督 入道 於 延和 死

此妻の 物より 生れ 物 不 満 以 載
寛政三年八月廿六日 家督 入道 於 延和 死
上 覽 白 澤 子 物より 生れ 物 不 満 以 載
以 載 三

政長 以 存 以 存

母身白

安永四年八月廿六日 家督 入道 於 延和 死

女死

母身白

母身白

母身白

三子久 年長

養母法皇女

實元法皇女代 仙傳 仙傳 仙傳 長官

實母仙傳 仙傳 仙傳 仙傳 長官

素仙傳 仙傳 仙傳 仙傳 長官

實元法皇女 年長 仙傳 仙傳 仙傳 仙傳 長官

廿 母法皇女

長官 仙傳

右通 仙傳 仙傳

高 仙傳 仙傳

長官 仙傳

長官 仙傳

長官 仙傳

長官 仙傳

長官 仙傳

長官 仙傳

實元法皇女 年長

實元法皇女 年長

長官 仙傳

と
十
月
廿
日

系
簿

中
有
者
大
小
各
項
均
有
記
載

法
氏
手
書
之
由
地
圖
其
名
為

大
小
各
項
均
有
記
載
手
書
之
由
地
圖
其
名
為

是

右系譜の如き也
西永山

正光 三統

正吉 武吉

母 島子

多貴 勝久

母 日

正勝 比奈 勝久

母 日

妻 少蓮 女

正春 平久

母 日

右系譜の内之方姉妹一羽、現存の
此方出生の、現存の、一、先、
書、
加、
子、

西永山、
大、

志業系系の字體一長及方の如く内前系系
 寛政十年年一と一内法正と後年が
 他高所に位一系及方の高小同姓并
 竹中系及方の字一

廿月
 蜀水公家

蜀水
 宇多源氏

蜀水系系之七代孫竹中源三郎義興
 系及方の内前系及方の系及方
 竹中系及方の系及方蜀水及方

蜀水及方の系及方

蜀水及方

蜀水及方

蜀水及方の系及方系及方系及方系及方

蜀水及方系及方系及方系及方

蜀水及方系及方系及方系及方

母小作氏原之長子福和泉守有作女
妻大相院藤原光長向十女夏重之女
年月不記或云如生

寛永承元甲子年没于伊予
公仲院藤原和泉 所月久

同日是年秋歿于 古也花知里由日
作分新志云云云云 云云 杜生於内子
寛永七年午年所危從之 所月如語
二云云

同八言是年大相院云 所月申根古陽也

入平隆年九月不記病歿于廿七番信入
所月如語云云云云

寛文十年辰年正月廿六日病歿于上野
後園院下 葬于 平仲院古寺塔基處

正元 三云云

中女母 長向十女夏重如也

寛文 富子作長久年長女男

寛母 長向十女夏重如也

妻 中女

寛永十三年午年出於出生

正史 傳 宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

正史 傳 宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

正 史

母 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

宣 三 年 十 月 廿 九 日 卒 於 家 年 七 十 有 一 矣 諡 曰 貞 子

号義光院位御侍定

正勝 昭宗御前 権左

世 四十一

高 少忠女

貞亨のち寛平年四月廿七日御前出立

宣平七年三月廿七日御前出立

次男冬勝 宣平七年三月廿七日御前出立

冬勝 宣平七年三月廿七日御前出立

御前出立

正任 甲午年四月廿七日御前出立

正光 病死

同身七月廿七日御前出立

大勝 御前出立

宣平七年八月廿七日御前出立

久留 御前出立

日十八 宣平七年十一月廿七日御前出立

因幡 御前出立

同身 宣平七年十一月廿七日御前出立

同身 宣平七年二月廿七日御前出立

久留 宣平七年四月廿七日御前出立

川口純定（子）の記し

宝曆六年四月廿七日 那波連水部督
阿尾隠所より

貞和元年七月廿一日 那波連水部督
号源朝後清海国直

冬 勝 持方

母 女

久保六郎重年四月廿一日 那波連水部督
那波連所より

正春 平九郎

母 女

年未定 那波連所より 那波連水部督
号源朝後清海国直

分 救 那波連 平九郎

母 女

那波連所より 那波連水部督
号源朝後清海国直

宝曆六年四月廿七日 那波連水部督
阿尾隠所より

貞和元年七月廿一日 那波連水部督
号源朝後清海国直

那波連所より

有子海原中絶成

同七年十月廿七日初生男下男名初人
之海原松平三三絶成

同九年十月十日初生男三三絶成

同十一年十月十日初生男三三絶成

同十二年十月十日初生男三三絶成

同十三年八月十日初生男三三絶成

号史道流而卯子三三

森 早世

母 早世

母子 而九... 三三... 絶成

母 早世

森 早世

母子 而九... 三三... 絶成

母 早世

同十三年十月十日初生男三三絶成

同十四年十月十日初生男三三絶成

同十五年十月十日初生男三三絶成

同十六年十月十日初生男三三絶成

女子 大正四年
白須口等。他 竹村の所より書出。妻
母 ひと

奉 謹 び 敬 申 上 申 上

母 西川氏女

妻 西川氏科九郎貞英様女

昭和八年卯年正月十日 西川氏女

天正八年申年四月十日 西川氏科九郎貞英様女

正徳九年乙未年正月十日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

石河氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

同 年 同 月 同 日 西川氏科九郎貞英様女

寛文十一年七月廿九日

同日二年二條

大正三年

寛文十一年

九月廿九日

女子 早世

母 乙内 浦戸 乙内 女

女子 中世 既述 初定 年 定 是 書

母 乙内 乙内 女

女子

母 乙内

既述

正利

母 乙内

安豊 乙内

母 乙内 乙内 女

女子

母 乙内

乙内 乙内

予の所為を以て後不^レ知^レず
其の由を尋ねしに
其の由を尋ねしに
其の由を尋ねしに

寛政十二年三月
富永の字
矢

予の所為
其の由を尋ねしに

予の所為
其の由を尋ねしに
富永の字

善事性

每歲本國三河

東政 正色之

西政 正色之

南政 正色之

北政 正色之

胎行

年月之至國皇河

於此極下之 古之所至者 必有之也 後

國之命極下 必所 所至者之 後也 正色之也

表也之也 廣在又年 必子 有能 休見 討死 年之也

但右 尚第下方面代也 而於 亦日人候
出寄仕事河經一細 川方之 白向年十月
十日 聖法子死 尚第代 子 子 子

寛永十三年五月五日 病死 年葬地 未定

膝立

母 氏 氏

寛永十三年 正月 丑 廿一日 死

寛永十三年 四月 丁 未 廿一日 死 後 不 入

多 如 子 氏 氏 氏

廣 安 永 永 年 三 日 十 七 日 死

膝立

母 氏 氏

元 禄 永 永 年 十 月 廿 九 日 死

膝立

母 氏 氏

寛 文 永 永 年 十 月 廿 九 日 死

母 氏 氏

寛 文 永 永 年 十 月 廿 九 日 死

後 永 永 年 十 月 廿 九 日 死

寛 文 永 永 年 十 月 廿 九 日 死

慶安四年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
寛文六年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
川口 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享元年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享二年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享三年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享四年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享五年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享六年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享七年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享八年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享九年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰
貞享十年 卯月 辰 酉人 辰 辰 辰 辰 辰

廿 亥子 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

卯辰

酉辰 卯辰

卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

卯辰 卯辰 卯辰 卯辰 卯辰

華の寺は西宮院に在りて是

志久 勸修寺

母 志久

三喜

貞享二年四月廿一日

富永の二年四月廿一日に於ては此の如く西宮院に在りて
三喜の如くは此の如く是の如くは此の如くは此の如くは
十人共の如くは此の如くは此の如くは此の如くは此の如くは

正徳三年四月廿一日

正徳三年四月廿一日

正徳三年四月廿一日

正徳三年四月廿一日

正徳三年四月廿一日

正徳三年四月廿一日

正徳三年四月廿一日

正徳三年四月廿一日

正徳三年四月廿一日

母 志久

胎長

勘定書
勘定書

春母

實父 母多基^{ジレ} 子多^シ 車別

實母 母多基^{ジレ} 子多^シ 車別

母多

元保七年

元保七年三月

海月

元保九年

同年

元保七年

元保七年

如死

母多

如死

母多

常政

母多

母多

宣和元年生民記

宣和十一年二月十日

宣和十三年二月十日

宣和十一年

宣和十一年二月十日

宣和十一年二月十日

宣和十一年二月十日

宣和十一年二月十日

廿
廿子

廿
廿子

廿
廿子

廿
廿子

廿
廿子

廿
廿子

廿
廿子

廿
廿子

廿
廿子

方志 一

養母

實父 御前 高木三郎方官散二男

實母 御前 高木三郎方官散二女

實 御前 高木三郎方官散二女

實曆七二年 三月廿七日

實元二四年 八月廿七日

實政三二年 十一月廿七日

實政四二年 十一月廿七日

女 母

母

女 母 御前 高木三郎方官散二女

母

方志 一

母

實元三二年 三月廿七日

實政四二年 十一月廿七日

實政五二年 十一月廿七日

多紀富永少外郎奉後方卜川火事

布通

先化十三年年方月

富永少外郎

と

奉りりら
ふは作らふ

法
三指田書 ○ 堀田是書

系録

西九早書後書

正見作らふ

富永少外郎

富永氏 宇多孫氏

宇多孫氏 後胤休本四命之細末孫

源氏 三ノ子孫

藤原氏 四ノ子孫

源氏 四ノ子孫

政直

源氏 四ノ子孫

右列少孫年中多事 宗瑞孫氏細孫孫氏
細孫孫氏 乙巳年 於於孫氏 乙巳年 於於孫氏
清文 乙巳年 於於孫氏 乙巳年 於於孫氏
乙巳年 於於孫氏 乙巳年 於於孫氏

昭直

源氏 四ノ子孫

崇禎元年... 國府... 歲...

守章

於三列

於政樣人所尋之 吾后...

守定

考...

少...

於政樣國系...

...

...

...

於政樣

在任...

...

...

直信

...

...

...

...

...

...

...

慶長二十九年月日

台位後様上
元和二年正月日
所由多
沙武
正保三年月日

大融後様上
河内見
治月村
正保三年
年

直裁

母孝山

天正元年
元和三年
正保三年

台位後様上

大融後様上
所由多

正保三年
元和三年

正保三年
元和三年

出資見

右正官見新修の 正官高野山勝安房
相物富永中命正所 高野山勝安房

出資

高野山

母 高野山

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

出資

高野山

母 高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

高野山正官高野山正官高野山正官

出資

高野山

母 高野山

高野山正官高野山正官高野山正官

實母 女

實母 女 小名 實母 女 實母 女

元祿八年十月十日 生

西德二之辰年九月十日 生

同年十月十日 生

同年十月十日 生

同年十月十日 生

重親

實母 女

實母 女

實母 女

實母 女

實母 女

實母 女

實母 女

實母 女

實母 女

實母 女

在子由朝少知考恭少岳後法聖居第休是

女子 孝子 富小 居第 考 由 聖 居 第 休 是

母 富小 居第 考 由 聖 居 第 休 是

女子 半世

母

女子 大 吳 所 育 之 大 郎 也 物 村

母

實 延 入 在 年 十 二 月

物 由 後 祿 心 終 以 有 公 之 後 年 日 志 中 為 之 後

心 歡 後 祿 中 海 中 滿 今 下 後 年 身 分 今 下

表 所 之 後 育 於 別 處 法 其 心 後 實 樹

實 實 法 凡 其 明 心 在 年 身 分 今 下 身 數 言 恭 少 岳 也

直溫

長子 成 記

母 富小 居第 考 由 聖 居 第 休 是

實 不 堂 之 智 能 池 田 別 居 考 由 聖 居 第 休 是

年 月 日 考 由 聖 居 第 休 是

右 溫 養

宣 丁 二 年 中 年 十 二 月 考 由 聖 居 第 休 是

四 初 末 三 留 依 別 酒 井 氏 浮 考 由 聖 居 第 休 是

日 七 一 七 年 考 由 聖 居 第 休 是

考 由 聖 居 第 休 是

考 由 聖 居 第 休 是

考 由 聖 居 第 休 是

直之

仁 次 考

此乃川少後有免... 延慶十有餘年...
曰正壽三年十月... 延慶十有餘年...
延慶十有餘年... 延慶十有餘年...
曰正壽三年十月... 延慶十有餘年...
曰正壽三年十月... 延慶十有餘年...
曰正壽三年十月... 延慶十有餘年...
曰正壽三年十月... 延慶十有餘年...
曰正壽三年十月... 延慶十有餘年...

也子 子也

也子 子也

也子 子也

母曰

延慶三年後... 延慶三年後...

三月... 延慶三年...

延慶三年...

也子 子也

實父 實父

實母 實母

明和... 實母

右延慶三年... 實母

今下實... 實母

延慶三年...

實父 實父

實母 實母

實母 實母

寛政九年丁巳年三月廿八日
八日
右通

右通

長正
長正
長正

寛政九年
長正
長正

長正

長正
長正
長正

長正

長正

長正
長正
長正

宇多御女

高水

皇女 有日御孫

高敏 海江日御孫 日御孫

高敏 高相 高福進

皇太子御孫

九二川

高水之孫云云

高水

高水之孫云云

母山守御孫云云 田中御孫云云 高水

高水御孫

高水御孫云云

廣水三將軍 十月生 伊豆守

高水御孫云云 父高水 高水

實之丞云云

高水御孫云云 所見

實之丞云云 高水御孫云云

高水御孫云云 高水御孫云云

高水御孫云云 高水御孫云云

高水御孫云云 高水御孫云云

高水御孫云云 高水御孫云云

高水御孫云云 高水御孫云云

子孫の功徳

天保十六年十一月廿九日

寛政九年

寛政九年十一月廿九日

右佐藤村の事

寛政九年十一月廿九日

伊予守村の事

寛政九年十一月廿九日

伊予守村の事

伊予守村の事

伊予守村の事

右佐藤村の事

寛政九年十一月廿九日

右佐藤村の事

寛政九年十一月廿九日

寛政九年十一月廿九日

寛政九年十一月廿九日

寛政九年十一月廿九日

寛政九年十一月廿九日

寛政九年十一月廿九日

右佐藤村の事

母之新氏

多子 内記物 隆平の

母之新氏

高直の

慶安二年生

寛文九年卒 有子方自 弘化元年

内記物

天和三年 江戸 後 續 入 物 白 河 内 記

文保三年 甲子 卒 弘化

華岡 号 支 榎 院 宣 色 浄 人

正光 号 示 之 院

母上目

兼 貞 元 年 卒 有 子 方 自 中 振 不 和 記 宣 水

宣 水 院 宣 水 院

多子 宣 水

母家女

乃 女 家 侍 軍 學 初 制 兼 制 師 範

正 徳 三 年 卒 有 子 方 自 弘 化

華岡 号 支 榎 院 宣 色 浄 人

多子

性多子

孝母 誠回女子

實若者 實若水 實若水 實若水 實若水

實母 女子

女子

天和二年 年方 年方 年方 年方

久保 方 年 方 年 方 年 方 年 方

久保 上 官 年 方 十 八 日 月 日 月 日 月 日

四年 月 日 月 日 月 日 月 日 月 日 月 日

修 成 治 國 村 日 月 日 日 日 日 日 日 日 日

里 的 村 近 村 之 代 地 之 代 地

久保 十六 年 年 方 月 日 日 日 日 日 日 日

尾 安 康 治

享 保 四 年 年 八 月 日 日 日 日 日 日 日

享 保 五 年 年 七 月 日 日 日 日 日 日 日

享 保 六 年 年 六 月 日 日 日 日 日 日 日

多子

性多子

性多子

孝母 女子

實若者 實若水 實若水 實若水 實若水

實母 女子 小 棠 物 牛 子 性 多 子 女

其妻孫 孫若丸之孫也

正徳三年二月廿六日生也

享保十六年十月朔 江戸府 西郷村 西郷

孫若丸之孫也 常列 江戸府 西郷村 西郷

孫若丸之孫也 常列 江戸府 西郷村 西郷

孫若丸之孫也 常列 江戸府 西郷村 西郷

孫若丸之孫也 常列 江戸府 西郷村 西郷

孫若丸之孫也 常列 江戸府 西郷村 西郷

享保二十一年四月九日 江戸府 西郷村 西郷

享保二十一年三月廿二日 江戸府 西郷村 西郷

其妻孫 孫若丸之孫也

正徳三年二月廿六日生也

享保十六年十月朔

江戸府 西郷村 西郷 孫若丸之孫也

常列 江戸府 西郷村 西郷 孫若丸之孫也

常列 江戸府 西郷村 西郷 孫若丸之孫也

常列 江戸府 西郷村 西郷 孫若丸之孫也

常列 江戸府 西郷村 西郷 孫若丸之孫也

享保二十一年四月九日 江戸府 西郷村 西郷

享保二十一年三月廿二日 江戸府 西郷村 西郷

其妻孫 孫若丸之孫也

孫若丸

孫若丸

孫若丸之孫也

孫若丸之孫也

孫若丸之孫也

孫若丸之孫也

孫若丸之孫也

或中補兵比上在對留

明和二年十月廿四日 西行山左流 高橋山

伊豆守

安永九年十月廿七日 西行山左流 高橋山

徳山右衛門守

安永九年四月廿七日 西行山左流 高橋山

同前十二月廿七日 西行山左流 高橋山

女 高橋山左流 高橋山

母上同

女 高橋山左流 高橋山

母上同

高橋山

徳山右衛門 高橋山

高橋山左流 高橋山

安永九年十月廿七日 西行山左流 高橋山

安永九年十月廿七日 西行山左流 高橋山

高橋山左流

高橋山左流 高橋山

安永九年十月廿七日 西行山左流 高橋山

安永九年十月廿七日 西行山左流 高橋山

安永九年十月廿七日 西行山左流 高橋山

寛文四年十月十日
寛文四年十月十日
寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

寛文四年十月十日

女

母

母

母

母

母

有

予曰吾不常陸水 亦心在江

大正保平 亦心在江

定政共七年

富永信之助

冬去

未四十一
富永信之助

十百零
海通年十命女也

信成
三百零一 亦心在江

系信

七
亦心在江
亦心在江
亦心在江

富永信之助

正吉 三ノノ

守貞 三ノノ

正時 三ノノ

守和 三ノノ

正美 三ノノ

大正六年守貞 故郷に 三ノノ 正吉 正時 守和 正美
尚村 正吉 三ノノ 正時 三ノノ 守和 三ノノ 正美 三ノノ
兄弟 正吉 正時 守和 正美 三ノノ 正吉 正時 守和 正美 三ノノ
通中 三ノノ

正吉 三ノノ 正時 三ノノ 守和 三ノノ 正美 三ノノ

女子 三ノノ

母 三ノノ

三ノノ

三ノノ

三ノノ

三ノノ

三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ
三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ
三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ 三ノノ

三ノノ

三ノノ

中多子姓

留水

今多子姓は後胤傳へて其子細末孫也
留水は其子也少子孫

善く致れり之を
此目録

守室

其子孫

母

生小少子

能云列

守室傳へ 所見は此守室は其後此守室
氏は其子也少子孫

其年月日善く致れり

守室

其子孫

母

其子孫 其子孫

天文七年月日此守室

少子孫其子孫其子孫

其子孫其子孫其子孫

其子孫其子孫其子孫

其子孫其子孫其子孫

其子孫其子孫其子孫

其子孫其子孫其子孫

其子孫其子孫其子孫

正考

正考

母 高橋の女

天正七年正月の事 生初の日

右佐藤村内代正考取次留書

元和元年正月の事 大坂夏の陣 印

御牛多助の事 御牛化相元九款 正付

正付の由 中侍の帳 張点高水 正付の家 正考

正考

同日丁酉年正月の事 大坂夏の陣 親知 正考

新庄頭田村清俊 高村二子と云ふ 正考

正考の事 田村百太郎 正考の事 正考

正考の事 正考の事 正考の事 正考

正考の事 正考の事 正考の事 正考

正考の事 正考の事 正考の事 正考

正考の事 正考の事 正考の事 正考

正考の事 正考の事 正考の事 正考

正考の事 正考の事 正考の事 正考

守官

正考の事 正考の事 正考の事 正考

正考の事 正考の事 正考の事 正考

正考

正考の事 正考の事 正考の事 正考

守官

忠母 中治法重女
守母 家女

母 世所贈之山形高志重女
元和六年甲申年八月廿九日
西條三郎年重官初主出遊
四年丙午六月廿四日歸
四年十月廿四日大里由福飯
由曆也廿四年七月十日
方乃之他女也
元禄六年丙午六月廿四日
元禄七年甲午年四月廿九日
其母之身君法流公是也

守母 封母 守母 守母

母 守母之氏女

高小高所贈之山形高志重女
清高也初進所去回因未
貞享元年乙酉年生也

元禄十二年甲午年七月廿九日
高小高所贈之山形高志重女
貞享十二年乙酉年七月廿九日
高小高所贈之山形高志重女

封母 守母

守母 守母 守母 守母

能書

松原

吉母 戸田氏女

信母 吉田氏女

實父 松井源三治の妻

實母 松原源三治の妻

妻 吉田氏女

實永 久壽年生氏女

吉原 十二年三月十日生氏女

吉原 十四年三月十日生氏女

吉原 十七年三月十日生氏女

吉原 二十年三月十日生氏女

實延 元年三月十日生氏女

實延 三年三月十日生氏女

實延 五年三月十日生氏女

實延 七年三月十日生氏女

守真

吉原

吉原

吉原

母 吉原氏女

妻 吉原氏女

實延 元年三月十日生氏女

實延 三年三月十日生氏女

實延 五年三月十日生氏女

實延 七年三月十日生氏女

實延 九年三月十日生氏女

宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日

紀元

宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日

宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日

宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日

正敏

母 上

宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日

正

母 上

宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日
宝曆三年 京 壬午 月 日

乳児七才の子

女 乳児七才の子高部保

母 有

女 乳児七才の子

母 有

女 乳児七才の子

母 有

女 乳児七才の子

母 有

住三才乳
母有

守年 年 幼

母 有
高部保言竹内高部保言高部保

宣曆丙寅年六月廿九日生

高部保言竹内高部保言高部保
幼年有乳児七才の子

高部保言竹内高部保言高部保
幼年有乳児七才の子

高部保言竹内高部保言高部保
幼年有乳児七才の子

一五五五五

天相二年七月廿九日生
宣政二年七月廿九日生

有

四年十月五日 堀内良直 正統二年 死

正統 堀内良直

母 吉田氏

安永七年正月廿五日 堀内良直 正統二年 死

正長 堀内良直

母 吉田氏

天明七年正月廿五日 堀内良直 正統二年 死

正 堀内良直 正統二年 死

母 吉田氏

正 堀内良直

正 堀内良直

母 吉田氏

正 堀内良直

母 吉田氏

正 堀内良直

母 吉田氏

正 堀内良直

安永七年正月廿五日 堀内良直 正統二年 死

正 堀内良直

安永七年正月廿五日 堀内良直 正統二年 死

正 堀内良直

安永七年正月廿五日 堀内良直 正統二年 死

上
東京
郵便
行

郵便

未
上
東京
郵便
行
三
高
松
野
田
丸
通
り

東京
郵便
行
三
高
松
野
田
丸
通
り

[Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

宇多源氏

富永

敦實親王太子後胤富永系乃
恭行四代孫河原守修人富永
孫久壽久也其富永之孫正冬吉
子曾

幕 街道四目信

家 角田月信

幼 丸山富永
花柳道

為永之能正男

吉野

長子

母少奈氏原自之孫和永之長女

其父少奈 咸德元年次生女

其父長十九甲 其年諸列生之能正男

其父一少 其孫長子

大藏後孫所代

寬永十三丙子年 其父少奈

其孫和永之長子

其孫和永之長子

曰十二 寬永十四年 其父少奈

其父少奈 其孫和永之長子

延享六年己卯九月七日 其父少奈

其父少奈 其孫和永之長子

其父少奈 其孫和永之長子

養政

長子

其父少奈 其孫和永之長子

其父少奈 其孫和永之長子

其父少奈 其孫和永之長子

妻 馬水源之次女
寛永九年八月廿一日生
山内内子生

岩倉院孫清氏富永正徳氏
延宝四年乙未八月廿一日生
市河氏

元和九年丁酉八月廿一日生
中津川内子生
天保六年丙申八月廿一日生

藤岡内子生

養菊 源吉

母祖父孫右女
妻山内氏子生

貞安内子打年八月廿一日生

岩倉院孫清氏

天保六年丙申八月廿一日生
天保六年丙申八月廿一日生
天保六年丙申八月廿一日生

母以代友之次之也 聖主女
 右佐古之軍助之也 孝子之仁也 後出之信也
 西元中人之法也 勸善也 德也 若果也 誠之信
 後才之德也 仁也 孝也 子也
 天明八年甲申年 卯月 卯日 卯時 卯分

子方泰 字子方 女一也

明和八年乙酉年 卯月 卯日 卯時 卯分 死年十六
 日一 華法 道修院 津山 通海

孝女 淳子 卯月 卯日 卯時 卯分

孝女 子方 卯月 卯日 卯時 卯分

實父 龍人 卯月 卯日 卯時 卯分 櫻二曾

實母 卯月 卯日 卯時 卯分 子方 女

實父 卯月 卯日 卯時 卯分 子方 女

實母 卯月 卯日 卯時 卯分 子方 女

諸君 卯月 卯日 卯時 卯分 子方 女
 卯月 卯日 卯時 卯分 子方 女
 卯月 卯日 卯時 卯分 子方 女
 卯月 卯日 卯時 卯分 子方 女
 卯月 卯日 卯時 卯分 子方 女

同治二年三月廿五日通判書
江州府知府河部伊藤氏及江州府知府
地之官印中後

同七年定年三月廿五日通判書
同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書
同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書
同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書

同七年三月廿五日通判書

寛政八年春年四月十八日 寛政八年六月
有山多尔 有山多尔 有山多尔 有山多尔
有山多尔 有山多尔 有山多尔 有山多尔
有山多尔 有山多尔 有山多尔 有山多尔

也

世 而 亦 知 之 也 予 慕 也

和 德 卜 吉 新 之 福 以 仇 三 本 以 善 始 以 善 終
信 此 信 此 信 此 信 此

相 和 九 日 辰 年 三 月 廿 九 日 辰 年 三 月 廿 九 日

法 書 長 官 向 所 在 家 為 水 部 丞 官 向 所 在 家
寛 政 十 年 三 月 廿 九 日 辰 年 三 月 廿 九 日

右

有 三 帝 後 有 三 帝 後 有 三 帝 後 有 三 帝 後
有 三 帝 後 有 三 帝 後 有 三 帝 後 有 三 帝 後

寛 政 十 年 年

寛 政 十 年 年

五

上之

百

未
後
出

三
地
向

西
後
馬

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

平多治姓

留水

善治

角四目信
角三目

宗之

角四目信
角三目

宗之

角三目
角四目

教皇教王方代後流留水三年方之善行

方代孫留水之胎正善去四男

留水孫方之善行方男

善行通

善行

善行

母之善行 善行是善行 仍善行

善行通 善行是善行 善行

寛文十三年十月十日 善行是善行 善行

○同年七月十日 善行通

元禄二年 善行通 善行通

元禄七年 善行通 善行通

宝永二年 善行通 善行通

正徳二年 善行通 善行通

善行通 善行通 善行通

養徳

徳久 陸奥 一

養母 少御中女

實父 武石 錦色 安慶 三ノノ 忠之

實母 忠女

養母 長谷川 忠之 而永 忠之 忠之 忠之

實父 忠之 年 忠之 忠之

正徳 久 年 忠之 忠之 忠之 忠之 忠之

正徳 二 年 忠之 忠之 忠之 忠之 忠之

正徳 三 年 忠之 忠之 忠之 忠之 忠之

實父 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

實母 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

實父 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

實母 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

養徳

養母 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

實父 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

實母 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

實父 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

實母 忠之 年 忠之 忠之 忠之 忠之

正徳二年正月の事也

元文元年七月の事也

元文二年三月の事也

天明二年二月の事也

天明七年十月の事也

天明七年十月の事也

泰和 其助

母家女

元文二年正月の事也

宝暦十三年十月の事也

号自以此田堂侍候

女 母家女

母家女

女 母家女

母上内

女 母家女

母家女

女 母家女

母家女

天保

八年

三月

母家女

喜 蓮文比保 榮 蓮子

家中根衣所 益 貞女

延享三年二月十九日生

宝曆十三年十月二日生

安永六年七月十日 入 蓮文比保 蓮子

天保九年四月 蓮子

安永九年三月 蓮子

天明四年九月 蓮子 蓮子

天明五年四月 蓮子

天明六年四月 蓮子

天明七年四月 蓮子

天明八年四月 蓮子

天保

八年

三月

母家女

實 蓮文比保 長 蓮子

實母 實水 女

實母 實水 女 實母 實水 女 實母 實水 女

實母 實水 女 實母 實水 女 實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女 實母 實水 女 實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

實母 實水 女

中多休氏

写水

休多休氏 写水 有子 宗之 俊胤 孫
不修人 写水 宗之 孫 正吉 之 男

正吉 四ツ目法

宗之 三ツ目

俊胤 四ツ目法

正吉 孫 正吉

母 四ツ目法 正吉 孫 正吉 女

書 正吉 孫 正吉 女 正吉 孫 正吉 女

寛長十九年甲寅年八月五日武列出生

大藏院孫所代新親王 在出方御入

御業御養育御仕候後 父富永御入

御幼少御三男御生御父富永御入

御實下二方御孫不令御仕候御業御入

御切米て及上中候と云候後

寛文二十月七日 御膳所方より 御付

年月不意御事候御業御入 杉浦内記

御上書御入

元禄又申年二月七日 御事候御業御入

仕候事小日向殿 御上御具候と云候御業御入

御名御心候不子不空

寛文 御事候

母 杉浦御事候御事

御業御入 御事候御事

明暦二年八月 御事候御事

延宝六年 御事候御事

御事候御事 御事候御事

御事候御事 御事候御事

元禄四年壬午年九月十日 新田島内 内藤
正徳 知下 山崎 作
正徳 中平年四月十日 新田島内 内藤
中平 山崎 知下 山崎 作
元禄六年 山崎 知下 山崎 作
中平 山崎 知下 山崎 作

守云 新田島内 山崎 作

母 山崎 知下 山崎 作

妻 山崎 知下 山崎 作

元禄七年壬午年九月十日 新田島内 内藤
正徳 知下 山崎 作
中平 山崎 知下 山崎 作
元禄八年壬午年九月十日 新田島内 内藤
正徳 知下 山崎 作
中平 山崎 知下 山崎 作
元禄九年壬午年九月十日 新田島内 内藤
正徳 知下 山崎 作
中平 山崎 知下 山崎 作

寛文九年癸卯死

同前十月三日父経邦と下五子

宝曆四年甲寅年十月廿七日病卒年五十九

崇徳二年乙未年八月廿九日病卒年五十九

文治元年丙寅年八月廿九日病卒年五十九

明和三年丙寅年八月廿九日病卒年五十九

同前上葬法名仙翁道林

寛文九年 乙卯年

母 佐列 中
由布 子 女

寛文九年 乙卯年 秋 秋

宝曆十一年己未年三月廿九日出生

宝曆十二年庚申年十月廿七日病卒年五十九

宝曆十三年辛酉年八月廿九日病卒年五十九

宝曆十四年壬戌年七月廿九日病卒年五十九

宝曆十五年癸亥年六月廿九日病卒年五十九

宝曆十六年甲子年五月廿九日病卒年五十九

宝曆十七年乙丑年四月廿九日病卒年五十九

宝曆十八年丙寅年三月廿九日病卒年五十九

宝曆十九年丁卯年二月廿九日病卒年五十九

此物死後

同年四月五日 臨終之時

明和六年三月十日 於此處

作行

安永八年四月十六日 於此處

正行

四年十月八日 於此處

正行 於此處

感佩 於此處

天明二年三月十日 於此處

同下 葬法名 於此處

任正

克助 於此處

母 由布子 於此處

明和六年三月十日 於此處

山崎 於此處

女子

平井 於此處

母 於此處

實之

於此處

母 平定 己亥年 秋 敬 母

書 之

宝曆 四年 己亥年 十一月 廿九日 母 歿 於 家

天保 二年 己亥年 十一月 廿九日 父 歿 於 家 母 歿 於 家

天保 六年 己亥年 十一月 廿九日 父 歿 於 家 母 歿 於 家

同 号 卜 葬 法 名 旭 洞 了 拜 敬

正 英 全 以 所 忌 忌 忌

母 忌 忌

天明 六年 己亥年 十一月 廿九日 父 歿 於 家 母 歿 於 家

天保 二年 己亥年 十一月 廿九日 父 歿 於 家 母 歿 於 家

時 年 能 忌 忌 十 忌 忌

母 忌 忌

天保 二年 己亥年 十一月 廿九日 父 歿 於 家 母 歿 於 家

依 依 依 依 依 依 依 依 依 依

母 忌 忌

母 忌 忌

母 忌 忌

女子 山崎 協一助 妻可高
母 山崎

正英

全改命 高力

孝母

實父 富永 五年 宣之 改命

實母 山崎 協一助 親教 女

高 山崎 協一助 親教 女

宣曆六年十月十日 宣父 宣母 宣

病氣 宣母 宣父 宣母 宣

宣一 宣二 宣三 宣四 宣五

四年十月十日 宣父 宣母 宣

宣一 宣二 宣三 宣四 宣五

宣一 宣二

宣一 宣二 宣三 宣四 宣五

宣一 宣二

宣一 宣二 宣三 宣四 宣五

宣一 宣二 宣三 宣四 宣五

宣一 宣二 宣三 宣四 宣五

可保
仁徳命
上野守
今多

五少

ホナリ
酒のり
か

法
三
酒のり
か

酒のり
三
酒のり
か

富永氏

字多治氏

本名治不白字多治富永氏
在東山書院為水久治治字多治
仙治氏書之字多治氏

再永長久
車竹

右殿陸原 河代 為安 仁壽 升年 吉野 山極

川口

佳陽臨標上らぬ所の月言

所月言の何れか書流るる

作行の何れか書流るる

宣文十二少年の何れか書流るる

平久の何れか書流るる

延宝八年中年二月廿四日行

貞享四年十一月廿四日行

小室の何れか書流るる

所用之何れか書流るる

正徳元年何れか書流るる

此の何れか書流るる

此の何れか書流るる

宣文 四月廿四日

平久 三月廿四日

延宝 三月廿四日

宣文の何れか書流るる

平久の何れか書流るる

宣文 四月廿四日

平久の何れか書流るる

延宝の何れか書流るる

寛政六年 四月廿六日

常憲院様所代

先年七月廿五日 江戸 常憲院様所代
御書付 横田山殿 御書付

右の如く 御書付 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

先年七月廿五日 江戸 常憲院様所代

御書付 横田山殿 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

右の如く 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

口比 常憲院様所代 御書付

法名性徳院

系

四孫助

母利實其母之系七

妻 左之門下之六女

右之門下助長

享保十一年八月十日卒

正親

三女

母

内孫助死去年八月十日卒

和歌山門下和歌山門下

享保十一年八月十日卒

正當

三女

母利實其母之系七

實父 左之門下之六女

家母 左之門下之六女

妻 左之門下之六女

享保十一年八月十日卒

右之門下助長

享保十一年八月十日卒

川原乃系之紀地以之

延享四年正月七日病卒一七甲子年

西暦一千七百九十一年二月二十一日

享年七十有九

葬所 川原

室戸七在年八月十日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

寛政九年正月六日
 華西之孫 志保子 号 雲威流
 中子 志保 志保子 志保子
 世孫 志保 志保子 志保子

京 子 助 子 世

母

京 惣持子 子 世

母

京 惣持子 子 世

喜母 松浦年子 志保母 女

實父 志保 惣持子 志保子 志保子

實母 志保 惣持子 志保子 志保子

實父 志保 惣持子 志保子 志保子

實母 志保 惣持子 志保子 志保子

實父 志保 惣持子 志保子 志保子

實母 志保 惣持子 志保子 志保子

實父 志保 惣持子 志保子 志保子

實母 志保 惣持子 志保子 志保子

實父 志保 惣持子 志保子 志保子

實母 志保 惣持子 志保子 志保子

實父 志保 惣持子 志保子 志保子

子 世

凡三年より海に勝つる一ツ島大ニ修る
 此師より古田の年より修 此并及此の
年去示らる 能く成
 寛政十一年有るより二十年以前より修
 上野より成り勝つ 其反對列修
 此より成り勝つ 其反對列修
 甲

古田の年より修

古田の年より修

古田の年より修

寛政十一年より修

古田の年より修

五

上
九
付

系
信

十
百
八
分
少
多
系
送
様
と
下
付

所
由
之
信
由
之
由
〇
協
同
員
名
義
で

中
書
法
師
少
多
系
送
様
と
下
付
協
同
員
名
義
で

大付氏

写水

是相以代任不亦少名并高字写水
小孫弟由某亦新中

幕政 藏子

家政 操凡

是相或幼者一從是利子中郷跡三行
而之政

当时

家政 望市凡
政政 策

先代右大臣 乙酉年 日任 右大臣 授大掾
右大臣 大掾 右大臣 德連子 与 朝
子 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年

大伴本重

母 右大臣 乙酉年 乙酉年 乙酉年

生 乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年

母 乙酉年

生 乙酉年

母 乙酉年

生 乙酉年

父 乙酉年

母 乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年

本

母之志

書 寫亦之體也

生之志

大敵 隆標 河代は 百出中く 他大久保 隆標 隆
他 亦即 亦之志 亦即 亦之志
亦出 亦身 亦身 亦身 亦身

實亦 亦之志 隆標 隆標 隆標 隆標
亦亦 亦之志 隆標 隆標 隆標 隆標
亦亦 亦之志 隆標 隆標 隆標 隆標
亦亦 亦之志 隆標 隆標 隆標 隆標
亦亦 亦之志 隆標 隆標 隆標 隆標

本題

在る 如 又十 隆標 隆標

母 寫亦 隆標 隆標

書 隆標 隆標

生之志

隆標 隆標

隆標 隆標 隆標 隆標 隆標 隆標
隆標 隆標 隆標 隆標 隆標 隆標
隆標 隆標 隆標 隆標 隆標 隆標
隆標 隆標 隆標 隆標 隆標 隆標
隆標 隆標 隆標 隆標 隆標 隆標

常憲院抄所代

天和三年八月、院有皇子、皇女、山幸、海幸、
仁、作、内、友、知、知、事、云、云、凡、所、言、事、云、云、
此、中、所、言、事、同、姓、何、事、云、云、重、清、次、男、
大、内、奉、通、任、才、一、條、云、云、凡、所、言、事、云、云、
云、云、

貞和三年、八月、廿三日、院、有、皇子、
作、云、云、

院、有、皇子、云、云、凡、所、言、事、云、云、
云、云、

院、有、皇子、云、云、凡、所、言、事、云、云、
云、云、

本通

大内 知事

母 乃 女

宣父 宣父 乃 女 乃 女
宣母 宣母 乃 女 乃 女
宣 宣 乃 女
生 乃 女

常憲度御沙汰

宣永三年戊午七月廿七日家督交時小書
信大之負因情多可記也

右常憲度御沙汰

正徳三年乙未六月十八日松本伊豆守
子記之書中人細川多太郎
作有石丸右左衛門細川多太郎
宣永三年乙未六月十八日松本伊豆守
小書治下能知者多可記也
日先乙未六月十八日松本伊豆守

同十六年乙未九月廿七日家督交時小書
信右守常流日能知也

正徳六年丙申五月廿七日松本伊豆守
信水川明村眼輝殿可令上許之書
宣永三年乙未

如子 右常憲

母 口口

如子 小書治下能知者多可記也
小林右左衛門右常憲

母 口

本明

十行

印

法

母 在 娘 女

書 每 夜 若 若 更 而 亦 是 若 女

後 高 野 原 若 若 乃 橋 正 娘 女

之 婦 十 七 年 十 月 十 日 註 明 生

右 德 隆 孫 行 代

右 德 隆 孫 行 代

享 保 十 七 年 十 月 十 日 註 明 生

入 德 隆 孫 行 代

同 十 七 年 十 月 十 日 註 明 生

西 島 大 山 作 行 德 隆 孫 行 代

實 之 保 元 享 保 十 七 年 十 月 十 日 註 明 生

在 乃 書 日 作 行 德 隆 孫 行 代

託 里 之 孫 行 代 註 明 生

作 行 代

享 保 十 七 年 十 月 十 日 註 明 生

作 行 代

同 十 七 年 十 月 十 日 註 明 生

同 十 七 年 十 月 十 日 註 明 生

享 保 十 七 年 十 月 十 日 註 明 生

明治二十九年七月廿九年九月廿九日
葬日等法名富田院宗人日刻

女子 中野宗中
母 杉原平也 屋仲妻

田中宗中 宗人妻
富田宗人 宗人

常平
母 日

近江宗三 西多平 寺日 寺日 宗人 宗人
宗人 宗人

女子 海津十人 高孝妻
母 日

本包 富小宗人 宗人

母 海津宗人 宗人

佐母 野原宗人 宗人

宗人 宗人 宗人 宗人

宗人 宗人 宗人 宗人

特任院林宗人

宗人 宗人 宗人 宗人

墨中^初 德考^多 及^所 居^其 的^小 重^法 子
田中^其 相^子 子^紀 子^如 子^如

日七^一 日^年 三^月 日^在 日^在 西^凡 年^人 日^如 日^如 日^如
日^如 日^如 日^如 日^如 日^如 日^如 日^如 日^如 日^如 日^如

清明^德 林^山 所^代

日十^一 日^年 日^年 日^年 日^年 日^年

清^德 林^山 所^代 作^有

日十^一 日^年 日^年 日^年 日^年 日^年

清^德 林^山 所^代 作^有

日十^一 日^年 日^年 日^年 日^年 日^年

清^德 林^山 所^代 作^有

日十^一 日^年 日^年 日^年 日^年 日^年

清^德 林^山 所^代 作^有

日十^一 日^年 日^年 日^年 日^年 日^年

清^德 林^山 所^代 作^有

日十^一 日^年 日^年 日^年 日^年 日^年

清^德 林^山 所^代 作^有

日十^一 日^年 日^年 日^年 日^年 日^年

清^德 林^山 所^代 作^有

作^有

所初九初九 作行

日年土月古古 所初九の所初九

高所代

日七丁未年方方何人何人 所初九の所初九

日八丁申年方方何人何人 所初九の所初九

日九丁酉年方方何人何人 所初九の所初九

日十月戌年方方何人何人 所初九の所初九

日十一月亥年方方何人何人 所初九の所初九

日十二月子年方方何人何人 所初九の所初九

日一丁丑年方方何人何人 所初九の所初九

母 中根衣冠西仲法喜の

母 泉年 俊方年 女

母 大井 泉年 昌虎 喜の

母 川内

母 小室 川内 昌虎 喜の

母 川内

女子 百有九

母 〇〇

本欄 百有九

母 〇〇

阿部 〇〇 〇〇

昭和 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

高所 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇

予部之長 市山所 政水川四井一照

寛政十一年

富永九平

五十一

[Faint bleed-through text from the reverse side]

富永系長

富永系長

系譜

七作

富永系長

富永傳

付姓

高水

先相高水亦高水更親系保之何代三河本
加茂頭高水村、修指高水高水村高水高水村

心結之政 石部之内横市凡

幕之政 石部之内横市凡

家之政 石部之内横市凡

云曾介平七代豐系建武二年亦有高水

神二川之政

政之政 丸之内地甚長也

伴之政之長平七代

親系

四所 高水之政

保之有親系在之長平朝

信之

六所 高水之政

高水

高水

高水

一所

保之有親系在之長平朝
高水之政

高水

高水

高水

高水

高水

高水

賢重 三子 宗氏 三子 宗正 三子

賢惟 三子

賢宗 三子 伯康

建和二年丙子... 新田... 付一... 正和... 三川...

去原 百八 親家 三子

景親 三子 景原 三子

景興 三子

今... 宗... 宗...

良興 三子 宗正 三子

宗正 三子 宗正 三子

景紀 幼少 大正
景英 大正 田嶋

景沈 大正
景依 大正

景定 大正

景忠 大正

母 景忠

以上多由京定由戶殿・信・助・成・高・死

景忠 三曾 四代

年 景忠 大正

法瑞院 大正

貞亨 元亨 年 甲子 大正 死

景忠 大正 長 景忠 景忠 院

景忠 大正

實 瑞本 大正 二曾

實 瑞本 大正 景忠

實文 九年 甲子 大正 院 田嶋 大正

大正

貞亨 元亨 年 瑞本

文昭後孫西丸上ノ行

天英隆孫西丸上ノ行

宝永九年二月廿四日傳死

享保三年十月肆日初孫西丸上ノ行

享保十一年四月廿九日死

享保十二年三月廿九日死

廿九日死

享保

享保十一年

享保

享保八年

享保十二年

享保

享保

享保

享保

享保

享保

享和十一年七月廿二日御極

享和十一年七月廿六日御極

享和十一年八月廿一日御極

享和十一年八月廿六日御極

享和十一年九月廿一日御極

享和十一年九月廿六日御極

享和十一年十月廿一日御極

享和十一年十月廿六日御極

享和十一年十一月廿一日御極

享和十一年十一月廿六日御極

延享二年三月廿一日御極

女... 為永信...

景慶 ...

母仁...

妻... 佐々長...

久文... 生...

明和... 年...

御... 年...

安永... 年...

安永六年甲子年三月廿一日
葬の寺号安永院 法名 禎
卯辰戌年二月 葬院 法名
孝女 孝女
安永六年三月廿一日 葬院 法名

景則 維新の

母 佐々木氏女
安永六年三月廿一日 葬院 法名

安永六年三月廿一日 葬院 法名
安永六年三月廿一日 葬院 法名
安永六年三月廿一日 葬院 法名

母 吉

景則 維新の

母 佐々木氏女

母 孝 孝女
母 吉

有通四...

有通...

有通...

有通...

宣統元年九月

寫小...

三十九

天

